

# アカデミアの 医工連携の試み

～健康状態の可視化を通して～



開催日時  
2025. **3.10** Mon **14:00~15:30**  
(開場 13:30~)

港区立産業振興センター  
札の辻スクエア 10F 研修室 2

(東京都港区芝 5-36-4)

参加費  
無料



詳細はこちら

講師

AKIKOKISHI SVENSSON M.D., Ph.D., M.Sc.(MPH)  
東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻  
個別化保健医療講座

特任講師 **岸 暁子**

北海道立札幌医科大学卒業 .The London School of Hygiene & Tropical Medicine (LSHTM) で公衆衛生学(栄養) 修士課程修了、東京大学大学院医学系研究科にて医学博士(内科学)取得、日本糖尿病学会認定専門医、日本医師会認定産業医。



# アカデミアの 医工連携の試み

～健康状態の可視化を通して～



アカデミアでの“医工連携”は“イノベーション”という言葉と共に益々注目されてきているが、健康長寿延伸を目指して、医療機関にいる時のみならず PHR (Personal Health Record) の活用をする時代が到来し、個人が自分の健康情報を把握・管理が可能なデジタルヘルスの時代の到来で、新たなイノベーションの創出が期待されている。デジタルヘルス領域での医工連携には、研究のコンセプト化、研究倫理申請、臨床研究の実施、データ管理、解析（従来型の疫学的アプローチ、機械学習・深層学習等）による個別化評価・フィードバックのアルゴリズムの開発、それらの研究成果を反映できる知財、出口戦略の検討などのために、エンジニア・医師・保健師・データサイエンティスト、生物統計家、疫学者などの各エキスパートが適所に各々

の専門性を発揮してチームを組むことが求められる。特に医工連携が可能な柔軟な体制で研究開発を行うことにより、従来の医療での応用のみならず、健康経営・ウェルビーイングなど一般社会でのヘルスケアにも還元することができる基盤技術の創生を目指すことができる。この度、「メタボリックシンドローム」、「睡眠」、「健康長寿」の3領域で行ってきたデジタルヘルス研究開発事例を紹介する。また、アカデミアのサポートにより設立された大学内スタートアップへの展開についても紹介を行う。

資料：東京大学大学院工学研究科バイオエンジニアリング専攻 個別化保健医療講座 提供

開催日時  
2025.3.10 Mon  
14:00~15:30

(開場 13:30~)

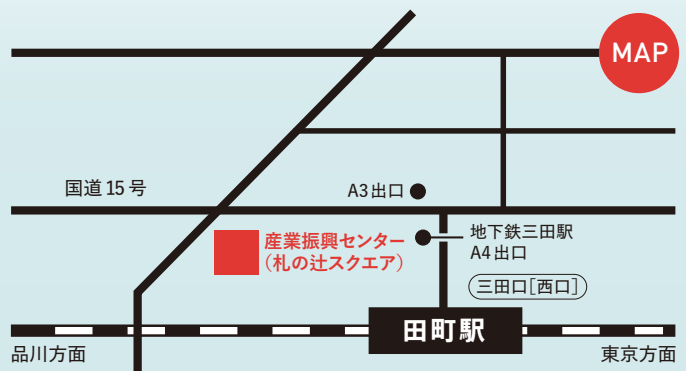
港区立産業振興センター  
札の辻スクエア 10F 研修室 2

(東京都港区芝 5-36-4)

お申込  
方法

右記二次元コード、または港区立産業振興センターHPのビジネスサポートファクトリー【イベントページ】からお申込みいただけます。

※要・事前申し込み



アクセス

- JR田町駅三田口(西口)から 徒歩4分
- 都営三田線・浅草線三田駅 A3出口から 徒歩4分  
または、A4出口から徒歩3分

【主催】 港区立産業振興センター指定管理者：みなと・キャンパス・リログループ  
事業担当：株式会社キャンパスクリエイト  
【お問い合わせ先】 港区立産業振興センター 9階 総合受付：TEL.03-6435-0601